

5/23
福井



国会周辺で「共謀罪」法案に反対し、横断幕を掲げる人たち
22日午後

「共謀罪」廃案を市民ら訴え

「共謀罪」の趣旨を盛り込んだ組織犯罪処罰法改正案に反対する多くの市民らが22日夜、国会前に集まり、口々に「徹底審議で廃案を」「共謀罪はいらない」などと抗議の声を張り上げた。同法案は23日の衆院本会議で採決される見通し。

主催者側によると、約500人が参加。「内心の自由を奪う共謀罪反対」などと書かれた横断幕を掲げ、「言論封

戦前、思想・言論弾圧に利用された治安維持法違反容疑で逮捕されるなどした杉浦正男さん(102)＝千葉県船橋市＝ら4人が22日、国会内で記者会見し、「共謀罪」の趣旨を盛り込んだ組織犯罪処罰法改正案について「治安維持法となら変わらさず危険だ」として廃案を求めた。

「治安維持法と変わらぬ」

弾圧経験者が会見

ほかに会見したのは、松本五郎さん(96)＝北海道音更町、菱谷良一さん(95)＝同旭川市、水谷安子さん(103)＝川崎市。杉浦さんは、所属していた出版工でつくる親睦会が労働組合と特別高等警察に目をつけられ逮捕された。会見では「治安維持法も一般の国民には影響がないのが前提だった」と指摘。治安維持法がその後、対象範囲が拡大したとして「共謀罪法案も同じ道を行く」と訴えた。

じの共謀罪はいらない」と何度もシュプレヒコール。国会に向かつて拳を突き上げた。

埼玉県戸田市の無職稲垣博美さん(46)は「真摯な説明をしない安倍政権の姿勢に怒り

を感じる。共謀罪が成立してしまうと、その後に市民生活が脅かされるような法律が次々と作られそうで怖い」と語った。